

防犯啓発事業

[583]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0101	実施計画
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	防犯意識の高揚	担当	市民生活部 市民活動課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<p>防犯教室等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児対象：保育園、児童館で実施する交通安全教室と併せて実施。 ・ 小学生対象：新1年生を対象に連れ去り防止教室を実施(市内全9校)。 ・ 高齢者対象：交通安全教室と併せて実施。 <p>防犯キャンペーンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街頭キャンペーン(駅周辺等)を市・警察署が共同実施。 ・ 市民祭、健康フェスタで「防犯コーナー」を設置し、防犯啓発を行う。 ・ 広報等による防犯意識の啓発(車上・住宅侵入盗など) ・ 市内商業施設において防犯啓発店内アナウンスの協力依頼 <p>安全安心メール配信による情報の共有化。 尾張旭市地域安全推進協議会に負担金を支払い、協議会と共に防犯啓発事業を実施。(防犯講話、防犯教室)</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの市民が防犯教室・キャンペーンに参加し、防犯意識が高まっている。 ・ 防犯意識が高まり、防犯対策を実践している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 防犯教室、キャンペーン等の開催回数	回	63	63	45	42
	B					
成果指標	C 防犯教室、キャンペーン等の参加(啓発)人数	人	5,328	2,314	4,300	7,325
	D					
事業費 計			528	514	517	516
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	528	514	517

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 昨年度実績と比較して延べ5,000人程度増加した。</p> <p>(原因) 全校区で夏の防犯パトロールが実施できたことにより活動人数が大幅に増加した。</p>
--------	---	---

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	新しい生活様式を踏まえた啓発方法について検討します。		
実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	コロナ対策として主に屋外での防犯パトロール活動を実施した。		

地域防犯パトロール支援事業

[585]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0201	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	地域ぐるみでの防犯体制の充実	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(地域住民) 自治会、町内会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会等を対象に、防犯パトロールの実施を促す。 実施団体に対しては、必要な物品等(反射材付ベスト、腕章、青色警告棒など)を提供する。 防犯パトロール隊連絡会を開催(6月・11月)し、各部隊の活動内容を共有するなど連絡会の充実を図る。 青色パトロール隊出発式(8月1日)、年末特別警戒出発式(12月1日)に併せ、警察署と防犯啓発活動を実施する。 青色パトロール活動費に対し補助金を交付。(尾張旭市地域防犯パトロール活動費補助金交付要綱)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

自治会、町内会に対して防犯パトロールの実施を促すことで、犯罪が抑止されるとともに、地域住民の防犯に対する意識が高揚している。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 防犯パトロール隊活動数	件	53	60	60	65
	B パトロール隊に交付した補助金額	円	350,000	330,000	390,000	340,000
成果指標	C 防犯パトロール活動日数	日	2,170	1,746	2,170	1,776
	D					
事業費 計			539	543	641	421
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	539	543	641

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 昨年度実績と比べて延べパトロール隊が活動数が5件、日数も30日増加した。 (原因) コロナ感染防止対策の影響で、地域による防犯パトロール活動が自粛傾向であったが、各地域において屋外のパトロールは実施できたため。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	パトロール活動について広報、HP等で周知し、後継隊員の増加を図ります。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

地域での防犯パトロールを継続支援した。

かけこみ110番の家事業

[586]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0202	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	地域ぐるみでの防犯体制の充実	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民	<ul style="list-style-type: none"> 「かけこみ110番の家」と表示された照明灯を門・玄関等の道路から見える場所に設置することで、夜間の犯罪抑止を図る。 また、「かけこみ110番の家」と表示されたプレートも門・玄関等の道路から見える場所に設置し、児童や女性などが犯罪に遭わないよう犯罪抑止を図る。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市内9小学校と連携し、新規登録または継続の有無など調査調整を図る。(登録件数R3 740件) 広報、HPなどで、かけこみ110番の周知、地元への協力依頼を行うなど、防犯対策の必要な啓発を行い、防犯活動に努める。 かけこみやすい市内の店舗に登録の協力を呼びかける。
	犯罪の抑止が図られ、市民の安心感が増している。 照明灯設置により、危険箇所が減少している。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 新規設置箇所数	箇所	1	2	18	9
	B					
成果指標	C かけこみ110番の家設置箇所数	箇所	754	756	807	740
	D					
事業費 計			99	14	64	1
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	99	14	64

R03年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 低下</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) プレート設置箇所数は16件減少した。</p> <p>(原因) 各小学校に当事業の周知や継続確認を依頼しているが、確認作業にかかる負担が大きいため新規登録は増加傾向にはない。</p>
--------	---	--

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	地元店舗等に対する協力依頼を行います。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
かけこみ110番の家は9件の設置ができた。			

青少年街頭相談事業

[589]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0301	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	青少年の非行防止対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学生以上の未成年者、青少年、その親・保護者、一般成人の市民	少年センターの主任育成員1人、校区育成員(中学校区各1人、計3人)、街頭相談員3人が市内を日常的、或いは定期的(月~金9:00~16:30、土13:00~20:15)に巡回し、登下校中の児童・生徒の見守り、不審者情報に基づく巡回、自転車危険運転や公園等に集まっている青少年に声をかける。 また、地域協力員(各種団体の構成員や役員によって形成されている「尾張旭市青少年健全育成推進会議」の委員全員を市長が委嘱)と、連携し青少年への声をかける。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
少年センター職員及び地域協力員が連携し、青少年へ声かけ等を行い、青少年の非行防止と健全育成を推進し、街頭相談件数が減少している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 街頭相談実施回数(回数)	日	281	285	290	282
	B 非行防止パトロールの実施回数	回	18	0	16	20
成果指標	C 少年センターによる街頭相談件数(延人数)	人	250	230	200	147
	D					
事業費 計			3,247	582	595	518
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	3,247	582	595

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標「少年センターによる街頭相談件数」の実績は、R2に比べR3は83件減少している。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響(緊急事態宣言等による外出抑制やタブレットによる授業)など、社会的な要因で外出する機会が減ったことが主な要因として考えられる。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	より効果的な市内巡回を行うため、市内小中学校や守山警察署等との連携の強化と情報交換を行います。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
情報提供を関係機関に呼びかけるとともに、不審者や不審車両に関して提供のあった情報に基づき、街頭パトロールを迅速かつ重点的に実施した。			

青少年悩みごと相談事業

[590]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0302	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	青少年の非行防止対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学生以上の未成年者、青少年、その親・保護者、一般成人の市民	少年センター電話相談員3人が、困ったこと、いじめ、学校や家庭での悩みや不安に関する相談に応じ、相談者に助言や支援を行う。 相談日 月～金 9:00～17:00 第2・第4土曜日 9:00～16:30(祝日は除く。)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	【参考】 少年センター街頭相談員3人は、市内を日常的(月～金 9:00～16:30 土曜日 13:00～20:15)に巡回し、登下校中の児童・生徒の見守り、不審者情報に基づき巡回、自転車危険運転している青少年に声をかけるとともに、必要に応じて小中学校等の関係機関と連携し、解決に向けた情報共有を行う。
	悩みや不安を抱える青少年やその保護者の相談に応じることで、相談者の悩みが緩和、解決されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 相談件数	件	142	155	180	321	
	B						
成果指標	C 相談事業に対する満足度	%	78	85	80	79	
	D						
事業費 計			120	120	399	362	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	120	120	399	362

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標「相談事業に対する満足度」の実績は、R2に比べR3は6.0ポイント減少しているものの、近年において約8割の水準を維持している。 (原因) 電話相談員が相談者の気持ちに寄り添いながら、丁寧に対応していることが要因と考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	市役所関係部署、小中学校、関係機関等と連携し、中学校卒業後(15歳以上)の若者の相談・支援体制づくりを行います。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
関係機関とともに「子ども・若者相談窓口連携に関する情報交換会」を実施し、不登校児童生徒、ひきこもり、生活困窮者の増加等の現状や課題について情報共有を図った。			

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0303	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	青少年の非行防止対策の推進	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>小学生以上の未成年者、青少年、その親・保護者、一般成人の市民 青少年健全育成推進会議(市民団体)</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>あいさつ運動や非行防止キャンペーンなど継続した啓発活動により、青少年の健全育成、非行防止に関する環境が醸成され、地域が一体となって取り組むという市民の意識が向上している。</p>	<p>青少年の健全育成活動を行う市民団体と市が連携してあいさつ運動、非行防止パトロール・キャンペーン、推進大会などを実施し、青少年健全育成の重要性を市民に訴える。また、各種事業の折に啓発資材を配布し、あわせて市民意識の向上を図る。</p> <p>また、青少年健全育成推進会議では平成22年度から「中学生サマーフェスティバル」を開催、平成28年度からは、開催時期と内容を変更し、「中学生フェスティバル」とし、音楽やダンスを通じて、中学生が交流する場として事業を展開している。</p> <p>尾張旭市青少年健全育成推進会議 構成員 406人(令和4年3月31日現在) 支部 3支部(旭中校区・東中校区・西中校区) 事業 ・非行防止パトロール 盆踊り会場は中止 ・非行防止キャンペーン ・青少年健全育成推進大会 新型コロナ対策のため中止 ・各小中学校でのあいさつ運動</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 非行防止パトロールなどの実施回数	回	18	0	16	20
	B 啓発資材の数量	個	3,410	0	4,500	2,040
成果指標	C 青少年健全育成に地域の取り組みが必要と思う市民の割合	%	91.0	91	90	89
	D					
事業費 計			1,231	1,254	1,077	1,000
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,231	1,254	1,077

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標「青少年健全育成に地域の取り組みが必要と思う市民の割合」の実績は、R1よりR3は2.0ポイント低下しているが高い数値となっている。 (原因) 「『あさひの子』地域みんなで育てましょう」を合言葉に、家庭・学校・地域が一体となった地域での声かけ運動や、非行防止キャンペーンなど、青少年の健全育成が長年にわたって進められていることが要因と考えられる。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	新しい生活様式を踏まえた啓発方法について検討します。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
新型コロナウイルス感染症の拡大により数多くの啓発事業が中止となったが、開催した一部事業については、参加人数を役員等に限定する等、できる限り3密を避けながら実施した。			

防犯灯設置・維持管理補助事業

[594]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0401	実施計画	対象
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	防犯施設の整備充実	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市民(地域住民) 自治会、町内会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、町内会の行う防犯灯の設置、器具取替費用の一部(定額・約1/2)を補助。(申請時期:随時) 自治会、町内会が管理する防犯灯の維持管理費用の一部(電気代)を補助。(8/1現在の灯数に対し1,700円/灯。申請時期:8月下旬)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理補助額を改定。 <ul style="list-style-type: none"> R4年度 1,900円 1,700円 令和3年度末 防犯灯数5,904灯 うちLED4,985灯(LED普及率84.43%)
	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、町内会に対して補助金を交付することで、防犯灯の設置が促進され、危険箇所(暗がり)が減少している。 犯罪の防止が図られ、住民の安心感が増している。 	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A 新設防犯灯の基数	基	63	102	80	147	
	B 防犯灯維持管理基数	基	5,641	5,759	5,870	5,904	
	成果指標	C 防犯灯・街路灯の満足度	%	77.9		70	71.7
		D 夜間、家の周りを明るくしている市民割合	%	47.5		60	11.5
事業費 計			21,732	19,662	20,932	20,245	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	21,732	19,662	20,932	20,245

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)防犯灯の新規設置数は145基増加した。 (原因)各自治会において、防犯灯の新規設置及び維持管理を精力的に活動してもらっている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	引き続き、LED化が進んでいない地区に対するLED化推進の啓発を進めます。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
LED化は着実に進んでいる。(R1年度末70.6%、R2年度末77.7%、R3年度末84.4%)			

防犯カメラ設置事業

[1272]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	44-0403	実施計画	対象
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	防犯施設の整備充実	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	市民 自治会、町内会	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	・地域防犯のために防犯カメラを設置する公共的団体(自治会、町内会)に対し、その設置費用を補助することにより、安全安心なまちづくりを推進し、犯罪が起かない生活環境づくりを図る。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	・「尾張旭市公共的団体による防犯カメラの設置事業補助金要綱」(平成30年4月1日施行)	・補助額については、対象となる経費の2分の1以内(上限15万円/1台)	・犯罪抑止を目的とした「設置推進地区」を示す警告看板の設置
		・犯罪の防止が図られ、住民の安心感が増している。 ・犯罪防止のため、自治会、町内会など防犯カメラを設置する公共的団体へ補助を交付することで、防犯カメラの設置が促進され、犯罪発生が減少している。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績
活動指標	A 新設防犯カメラの基数	基	3	16	4	6
	B 防犯カメラの基数(累計)	基	38	45	38	51
成果指標	C 治安に対する安心感	%	82.6		80	87.5
	D					
事業費 計			432	1,373	1,500	530
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		432	1,373	1,500

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 防犯カメラはの新規設置6基と着実に増えている。 (原因) 防犯パトロール活動や防犯カメラの設置など安全安心なまちづくりを推進する。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	防犯カメラを設置する公共的団体への維持管理補助金について、他市町の状況調査を行います。		
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
近隣市町の状況を注視する。			

交通防犯庶務事務

[974]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	99-0303	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	係の庶務事務 係職員	庁外文書の收受 庁内通知、報告文書処理 財務会計事務 交通防犯係の予算決算に関する事務 交通防犯関係事業の行政評価・人事考課制度に関する事務 嘱託職員の管理 出張命令書の処理 係の備品、消耗品の調達、管理 【1,898時間(:1人工)×0.3人工(交通防犯係庶務事務) 567時間】
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・係の庶務事務が正確かつ円滑に進んでいる。
 ・事務の改善により、庶務事務所要時間が削減されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A						
	B						
	C						
	D						
成果指標	事業費 計						
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般					

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

少年センター庶務事務

[978]

事業の位置づけ

一般会計

政策	04	安全で安心なまちづくり	事務事業コード	99-0304	実施計画	
施策	04	防犯対策の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 市民活動課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (03年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	少年センターの職員 少年センターの庶務事務	<ul style="list-style-type: none"> ・庁外文書の收受 ・庁内通知、報告文書処理 ・少年センターの予算・決算に関する事務 ・少年センターの行政評価・人事考課制度に関する事務 ・会計年度任用職員の勤務表調整事務 ・少年センターの備品、消耗品の調達、管理 ・青少年健全育成推進会議の事務局運営
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・少年センターの庶務事務が正確かつ円滑に進んでいる。
・事務改善により、庶務事務所要時間が削減されている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	元年度実績	02年度実績	03年度当初	03年度実績	
活動指標	A	時間	850				
	B						
成果指標	C	件					
	D	時間					
事業費 計		千円	54	41	54	46	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般	54	41	54	46	

R03年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	--	--

R03年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R03年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R03年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定